

<p>南浜中たより</p> 		<p>【教育目標】 深く考え 心豊かに 実践する生徒 令和6年3月15日(金) No. 13 新潟市立南浜中学校 校長 坂井 孝</p>
---	--	--



第77回卒業証書授与式

3月4日、3月としては若干寒い日でしたが、第77回卒業証書授与式を挙行了いたしました。33名という大変多くのご来賓の皆様からご列席賜りました。式での全校合唱「ふるさと」、卒業生合唱「3月9日」はいずれも感動的なものでした。卒業生へのこれまでのご指導・ご支援に深く感謝申し上げます。紙面を借りて、式辞、送辞、答辞の一部を紹介します。

式辞

本日南浜中学校を巣立つ三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。南浜中学校で培った資質能力を、新たなステージで発揮する時が来しました。皆さんは三年間で大変多くのことを学んだと思います。三年生になってからは、最高学年としての自覚が芽生え、南浜中学校のリーダーとしての活躍が多く場面で見られました。落ち着いて取り組む授業、各チームの模範となり体を張って後輩たちを鼓舞した南中駅伝。海鷹祭では応援リーダーを中心に団結し、ダンスでは新潟医療福祉大学ダンス部のご指導の下、これまでに無い素晴らしいダンスを披露しました。松風祭では、これまでの総合的な学習の時間の総まとめとして、SDGsの視点から、南浜の将来に向けた課題を追究し、自らの行動で解決しようとする活動のプレゼンテーションを行いました。午後からの合唱コンサートでも三年生らしい、落ち着きのある合唱を披露し、全校合唱では、下級生をリードし感動的な合唱を作り上げました。生徒会活動でも通常の活動の他にオリジナルの活動も見られました。学習強調週間や高校入試前に行った「がむしゃら塾」は、生徒会の発想で行われ、生徒同士で学習し合うという、今年度全校で取り組んだプロアクティブの活動の一つであるピアサポートを実現する場となりました。

卒業にあたりはなむけとして三つのことを話します。一つ目は、過去と他人は変えられない、未来と自分は変えられる。他人を変えようとするのは時間の無駄。自分を変えれば相手との関係も変わるということです。このことは、別の言葉で言えば「人のせいにならない」ということです。責任や原因を他人に押しつけている間は残念ながら成長しません。うまくいかない原因を考え、それを解決して自分を変えていくというスタイルを確立すれば、必ず成長します。これにはメタ認知が必要です。自分を客観視する、一つ上の視点から自分の状況を見るということです。

二つ目は、人生は思ったようにはならない、やったようになるということです。これも別の言葉で表現すれば、失敗を恐れず迷わず挑戦する、覚悟をもってやるきることです。いつも言っていますが、失敗はうまくいかない方法を一つ学んだということ。失敗を生かして成功に繋げることが重

要なのです。英語で言うと、No challenge、No gain（チャレンジなければ、進歩なし）です。なりたい自分ややりたいことを見つけて挑戦し、人生を楽しんでほしいと思います。

三つ目は、かわいがられる人間、応援される人間になるということです。かわいがられる人間、応援される人間になるには、相手の立場で物事を考え行動する必要があります。相手や他人の立場を考えられない人は、自己中心的に見られ信用されません。また、社会で相手にされず世間から疎まれます。逆に相手や他人の立場を考えられる人は、状況を考えて言動ができ、信頼されます。そして自然と周りに人がついてきて、世間から一目置かれるようになり、承認欲求が満たされます。これがかわいがられる応援される人間の姿です。このことを頭に入れて人生を歩んでほしいと思います。

送辞

卒業生の皆さん、本日はご卒業おめでとうございます。在校生一同心よりお祝い申し上げます。卒業証書を手にした今、3年間のいろいろな思い出が溢れていることと思います。その中でも最高学年として南浜中学校を引っ張ってくださったこの1年間は、在校生にとっても大切な思い出の1ページとなりました。



生徒会活動では、温かく親しみやすい雰囲気でも、2年生をリードしてくださいました。海鷹祭に出られなかった人たちのために企画してくださったプチ海鷹祭や、学力向上のため教えあったり勉強したりする「ガムシャラ塾」など、皆さんの発想力・実行力のおかげで有意義な学校生活を送ることができました。松風祭の総合学習成果発表では、SDGsを踏まえ、1、2年生で学んだことを生かし、南浜地域のこれからのためにどんなことをしていったらよいかを一生懸命に考えていらっしゃいました。南浜の将来を考えて行った取組はどの班も工夫されていて、素晴らしいプレゼンや商品ができていたと思います。南浜という小さな地域から、これからの日本のため、世界のために自分たちができることを真剣に考える姿勢は、多様な視点で地域を考える大切さを教えてくださいました。

いつも穏やかな笑顔が絶えなかった卒業生の皆さん、私たちは先輩方から学んだことをしっかりと受け止め、継承しながら新しいことにもチャレンジしていきたいと思います。そしてより良い南浜中学校を築いていけるよう、精一杯努力していきます。

答辞

私たち卒業生が、無事にこの日を迎えることができたのは、先生方をはじめ、たくさんの方々のご指導とご支援があってこそだと強く感じています。卒業にあたり、お世話になった皆様に、卒業生を代表し、感謝の気持ちを伝えます。今年度は、感染症に伴うさまざまな規制がなくなり、学校行事や生徒会活動、日々の生活の場面で、全校生徒が一丸となり、「我夢謝楽」に取り組むことができた一年だったと思います。



海鷹祭当日は、途中降った雨もものともせず、全校生徒が全力で競技・応援に挑みました。新潟医療福祉大学ダンス部の方々から、たくさんのご教示をいただいた規定ダンス、自由ダンスとも、両軍素晴らしいパフォーマンスができました。地域一体型生徒会種目の「綱引き」は、地域の方々がたくさん参加していただき、学校と地域が一体となって盛り上がり、絆を深めることができました。

松風祭では、一年生はサツマイモプロジェクト、二年生はSDGsプロジェクト、三年生はグローバルプロジェクトという総合学習の取組を通して学んだ成果を、それぞれ発表しました。私たち三年生は、二年生での総合学習で、南浜地域や新潟市が抱える課題を調査しました。今年度は、二年生での学習を発展させ、南浜をより良くするために、今、私たちに何ができるのかを考え、「衣・食・住」そして「発信」の視点からグループに分かれ、課題解決の実践に取り組みました。

学習を進めるにあたって、私たちを支えてくださった方々に、改めて感謝の気持ちを伝えることができたと思います。また合唱コンサートの全校合唱「青葉の歌」では、生徒一人ひとりが歌に思いをのせ、体育館中に南中生の美しいハーモニーを響かせることができました。

最後に私が保育園のころから聞いている大好きな曲「You can come to me」の詞の一節を、皆さんに贈って終わりたいと思います。「If you wanna cry, I will be your shoulder, If you wanna laugh, I will be your smile」もし泣きたいなら、肩を貸すよ、もし笑いたいならあなたの笑顔になるよ、という意味です。どんなに辛くて仕方ない時でも、私には大切な仲間がいる。だからほんの少しでもいいから、希望をもって前を向こう。そんなメッセージが込められていると私は思います。辛いことがあったら、友達に頼って、たくさん話していきましょう。

最後になりましたが、南浜中学校のますますの発展を心からお祈りし、答辞とさせていただきます。

【隠居爺の独り言：有意義な春休みに】 厳密には18日からですが、実質明日16日から春休みが始まります。よく有意義な〇〇休みという言葉が使われますが、有意義って何でしょう。意義がある、意義とは価値のあることです。価値のある休みにしようということになります。ところが、人それぞれ価値観は違いますから、人それぞれ有意義な春休みは違います。あなたは、何に価値を見いだしますか。この思考や判断が重要です。そのために学校で学習するんですね。間違えないように！